



(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-133234  
(P2002-133234A)

(43) 公開日 平成14年5月10日 (2002.5.10)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームト* (参考)	
G 0 6 F 17/60	3 2 2	G 0 6 F 17/60	3 2 2	5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C	5 K 0 6 7
	5 0 6		5 0 6	
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 B 7/26	1 0 9 M	
		H 0 4 Q 7/04	D	
審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 8 頁)				

(21) 出願番号 特願2000-325481(P2000-325481)

(22) 出願日 平成12年10月25日 (2000.10.25)

(71) 出願人 500496312

株式会社コストマネジメント研究所  
東京都中央区日本橋箱崎町5-15

(72) 発明者 金井 弘幸

東京都中央区日本橋箱崎町5-15 株式会  
社コストマネジメント研究所内

(74) 代理人 100088214

弁理士 生田 哲郎 (外1名)

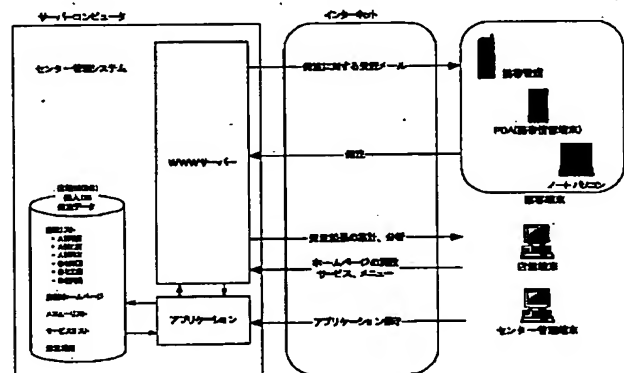
Fターム(参考) 5B049 CC06 EE05 FF04 GG02 GG03  
GG065K067 AA34 BB21 EE02 EE16 FF02  
FF03 JJ53

## (54) 【発明の名称】 予約発注システム

## (57) 【要約】

【課題】顧客が店舗に到着する前に商品、サービスが用意され、商品、サービスを賞味することができる予約発注システムを提供する。

【解決手段】移動体通信機を有する顧客、各種店舗及び予約発注を処理するセンターとを結ぶネットワークに於いて、センターが、顧客に対して店舗のウェブサイトへのアクセスを促す一方、店舗のウェブサイトへアクセスした顧客が選定した店舗名を受取る手段、該顧客が選定した店舗が提供する商品、サービスメニューを顧客の移動体通信機に通知する手段、該顧客が移動体通信機から送信する注文情報を受取る手段、顧客の該注文情報をその店舗に通知する手段及び店舗から商品、サービスメニューを受け取る手段を備えたことを特徴とする予約発注システムである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】移動体通信機を有する顧客、各種店舗及び予約発注を処理するセンターとを結ぶネットワークに於いて、センターが、顧客に対して店舗のウェブサイトへのアクセスを促す一方、店舗のウェブサイトへアクセスした顧客が選定した店舗名を受取る手段、該顧客が選定した店舗が提供する商品、サービスメニューを顧客の移動体通信機に通知する手段、該顧客が移動体通信機から送信する注文情報を受取る手段、顧客の該注文情報をその店舗に通知する手段及び店舗から商品、サービスメニューを受け取る手段を備えたことを特徴とする予約発注システム。

【請求項 2】店舗が、店舗のウェブサイトを通じて商品、サービスメニューを変更、追加又は削除を行わせる手段をセンターが備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の予約発注システム。

【請求項 3】商品、サービスの提供費用の決済に於いて、センターが、会員システムと連動させてクレジットカード又は銀行口座から決済を行う手段を備えたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の予約発注システム。

【請求項 4】センターが、顧客が商品、サービスの提供を受ける店舗の位置を該顧客の移動体通信機上で検索する手段を備えたこと特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の予約発注システム。

【請求項 5】センターが、自動測位システムを搭載した移動体通信機に、顧客が選定した店舗の位置を表示ナビゲートする手段を備えたことを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の予約発注システム。

【請求項 6】センターが、商品、サービス提供が可能な時間即ち予約時間を店舗から受け取る手段及び該予約時間を顧客の移動体通信機に通知する手段を備えたこと特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の予約発注システム。

【請求項 7】センターが、商品、サービスが飲食品の場合、顧客が発注した料理のカロリーを計算する手段及びカロリーの計算結果を顧客の移動体通信機に通知する手段を備えたことを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の予約発注システム。

【請求項 8】前記カロリー計算が、一ヶ月間などの一定期間に消費された飲食品のカロリー累積値を含むことを特徴とする請求項 7 に記載の予約発注システム。

【請求項 9】移動体通信機のインターネット接続に於いて、センターのサーバー上で乱数計算して得た数値を、アクセスした顧客の移動体通信機に返す情報の中に暗号化して組み込み、これを利用してセッションを確立し、セッション確立後は、センターのサーバーは移動体通信機から送られてきた情報に組み込まれ該暗号化された数値によって相手特定してセッションを維持し、これに基づいてデータの受け渡しを行う手段をセンターが備え

たことを特徴とする請求項 1 から請求項 8 のいずれかに記載の予約発注システム。

【請求項 10】センターにアクセスしてきた顧客の移動体通信機の属性を判断し、移動体通信機の機種に対応した言語のコンテンツを自動生成し返す手段をセンターが備えたことを特徴とする請求項 1 から請求項 9 のいずれかに記載の予約発注システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

10 【産業上の利用分野】本発明は、店舗で商品、サービスの提供を受ける際に、商品、サービスの予約発注をインターネットを介して移動体通信機により行う予約発注システムに関するものであり、特に、携帯電話で予約発注を行うシステムに関する。

## 【0002】

20 【従来の技術】インターネットの発展により、インターネットを利用したバーチャル店舗、モールによる商品、サービスの販売が広く行われるようになってきている。即ち、インターネット上で商品、サービスの提供サイトにアクセスし、サイト開設者に電子メールを送付することにより商品、サービスを注文するものである。インターネットを利用した商品、サービス販売システムは、現在広く普及している。バーチャル店舗では実際に商品を手にとってみるができないので、商品のカラー写真や商品の説明文をウェブサイトに掲載し、購買者の便宜を図っている。また、商品、サービスの販売システムは、多くの場合パソコン端末を前提にしている。

30 【0003】一方、飲食品のように注文してから提供される商品に関しては、インターネットサービスが無いため、消費者は直接レストランやファストフード店に行ってから注文するするのが実状である。かかる場合、レストランの混み具合により、着席するまで待たされたり、また、メニューを見て注文した後も料理が出来上がるまでに時間がかかることも多い。従って、レストランでは事前にテーブルが料理を予約することの利便性が認められる。また、レストラン内で注文をする場合、注文を受ける側が注文を受ける体制にあることが条件となるが、店舗の構造的な制約、例えば、間仕切りなどで死角となり消費者の注文姿勢が認知されない場合やサービス体制、例えば、消費者数に対するサービス提供者の人数が少ない等の理由で、スムーズに注文に対応することができないという場合もある。また、顧客の来店が集中した場合料理を提供するまで時間がかかるという問題がある。更に、何度も来店してくれる顧客に関する個人情報の蓄積ができていないため、次回以降に顧客が料理を発注する際に参考となるデータ、例えば、今までの注文料理や累積カロリー数などを提供できず、また来店時にお得意様としての対応ができないため、リピータとしての囲い込みの機会を生かし切れていないという指摘もある。ことに大規模レストランチェーンのような場合に、

以上の問題点が深刻となる。

【0004】また、インターネットを利用したバーチャル店舗、モールによる商品の販売は、パソコン端末を前提にしているため、自宅から容易にこれらのバーチャル店舗、モールを利用することができるが、自宅以外の場所からの利用は困難である。特に、最近急速に普及した携帯電話は、自宅も含め広範囲の場所で使用できるので、携帯電話を使用してこれらバーチャル店舗、モールを利用したいという希望が高まっている。しかし、携帯電話によるバーチャル店舗、モール等の利用は、今のところ困難な状況にある。

【0005】パソコンによるインターネット接続、いわゆるセッション（情報のやりとり）の確立については、ウェブサーバーが利用者を識別するためにウェブブラウザに送る情報「クッキー（cookie）」が利用されている。ウェブでは1回のセッションが基本であるため、対話的な連続データのやりとりは、そのデータのやりとり毎にクッキーを送り利用者の認識をする必要がある。例えば、オンラインショッピングに於いて、商品いくつか選択して最後に支払い手続きを行なうような場合、各セッションでサーバー側が利用者を識別している必要がある。この際、サーバーはブラウザにクッキーを送り、ブラウザはセッションの度にサーバーにクッキーを送り返すことでサーバーが利用者を識別するのである。

【0006】ところが、携帯電話によるインターネット接続技術ではクッキーが利用できず、特定キャリア（NTTドコモ）の特定サービス（公式メニュー）を除いては、スタンダードなセッション確立方法が提供されていないため、対話的な連続データのやり取りが困難な現状にある。

【0007】更に、携帯電話では、そのキャリア（回線提供会社の意味、以下、キャリアと記す）によってインターネット接続技術が異なるため、利用者側で機種毎に対応したコンテンツを作成するか、又はそれぞれの機種に対応したソフトウェアを開発する必要がある。携帯電話の機種に関係なく、インターネット上でデータのやり取りが可能なのが求められている。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】以上の状況に鑑みて、本発明がなされたものである。即ち、本発明の目的は、移動体通信機を使用して、インターネット上で、前もって商品、サービスを予約注文し、顧客が店舗に到着したときには事実上の待ち時間無く商品、サービスの提供を受けることができ、また、飲食品の場合には同時にレストラン等の空き状況を把握し、テーブルの予約を容易に確保することのできる、移動体通信機による商品予約発注システムを提供することにある。本発明の他の目的は、例えば、レストラン内に於ける注文に対しても、建物の構造的な制約やサービス人員数等に保われることなく

受注が可能で、しかも、店舗人員コストの低減にも役立つ、予約発注システムを提供することにある。また、予約注文に基づいて商品を提供するので、店舗の営業活動の効率が高まり、同時に顧客の個人情報の蓄積により顧客へのサービスを高める予約発注システムを提供するものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の要旨は、インターネットを介して移動体通信機から希望の商品、サービスを予約発注するシステムである。即ち、請求項1の発明は、移動体通信機を有する顧客、各種店舗及び予約発注を処理するセンターとを結ぶネットワークに於いて、センターが、顧客に対して店舗のウェブサイトへのアクセスを促す一方、店舗のウェブサイトへアクセスした顧客が選定した店舗名を受取る手段、該顧客が選定した店舗が提供する商品、サービスメニューを顧客の移動体通信機に通知する手段、該顧客が移動体通信機から送信する注文情報を受取る手段、顧客の該注文情報をその店舗に通知する手段及び店舗から商品、サービスメニューを受け取る手段を備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0010】請求項2の発明は、店舗が店舗のウェブサイトを通じて商品、サービスメニューを、変更、追加又は削除が行わせる手段をセンターが備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0011】請求項3の発明は、商品、サービスの提供費用の決済に於いて、センターが、会員システムと連動しクレジットカード又は銀行口座から決済を行う手段を備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0012】請求項4の発明は、センターが、顧客が商品、サービスの提供を受ける店舗の位置を該顧客の移動体通信機上で検索する手段を備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0013】請求項5の発明は、センターが、自動測位システムを搭載した移動体通信機に、顧客が選定した店舗の位置を表示しナビゲートする手段を備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0014】請求項6の発明は、センターが、商品、サービス提供が可能な時間即ち予約時間を店舗から受け取る手段及び該予約時間を顧客の移動体通信機に通知する手段を備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0015】請求項7の発明は、センターが、商品、サービスが飲食品の場合、顧客が発注した料理のカロリーを計算する手段及びカロリーの計算結果を顧客の移動体通信機に通知する手段を備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0016】請求項8の発明は、前記カロリー計算が、一ヶ月間などの一定期間に消費された飲食品のカロリー累積値を含むことを特徴とする予約発注システムである。

【0017】請求項9の発明は、移動体通信機のインターネット接続に於いて、センターのサーバー上で乱数計算して得た数値を、アクセスした顧客の移動体通信機に返す情報の中に暗号化して組み込み、これを利用してセッションを確立し、セッション確立後は、センターのサーバーは移動体通信機から送られてきた情報に組み込まれ該暗号化された数値によって相手を特定してセッションを維持し、これに基づいてデータの受け渡しを行う手段をセンターが備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0018】請求項10の発明は、センターにアクセスしてきた顧客の移動体通信機の属性を判断し、移動体通信機の機種に対応した言語のコンテンツを自動生成し返す手段をセンターが備えたことを特徴とする予約発注システムである。

【0019】本発明は、インターネットを介して移動体通信機から希望の商品、サービスを予約発注するシステムである。移動体通信機を有する顧客、各種店舗及び予約発注を処理するセンターから構成されるネットワークに於いて、顧客が店舗のウェブサイトにアクセスし、該ウェブサイトを通じて利用する店舗がセンターに通知される。センターは、顧客が選定した利用店舗名を受取ると、該顧客が選定した利用店舗が提供する商品、サービスメニューを顧客の移動体通信機に通知する。顧客は、通知されたメニューの中から自分の好みの品を選択してセンターに注文情報を通知する。注文情報を受け取ったセンターは、その注文情報を顧客が利用店舗に通知する予約発注システムである。この際、注文した商品、サービスを店舗で受け取る時刻、即ち、予約時刻を、顧客に知らせることもでき、顧客は長い待ち時間をとることなく商品を受け取ることができる。

【0020】本システムに於いて、センターは、商品、サービスが飲食品の場合、顧客が発注した料理のカロリーを計算し、その結果を顧客に通知することができる。このカロリー計算値は、一ヶ月間などの一定期間に消費された飲食品のカロリー累積値を含むこともできる。

【0021】また、顧客の便利性を考慮して、現金を持たないときでも、本システムのサービスを受けることができる。即ち、商品、サービスの提供に要する費用の決済を、銀行、クレジットカードシステム、会員システム等と連動させて課金することができる。顧客のID番号とパスワードから予約注文する顧客が特定できるので、予め登録されているクレジットカード又は銀行口座から代金を決済することができる。

【0022】利用店舗の場所が不明のときには、利用店舗名を端末上で検索することができ、更に、店舗の位置を移動体通信機上で表示しナビゲートすることもできる。

【0023】携帯電話によるインターネット上での連続したセッションを可能にするために、携帯電話のインタ

ーネット接続に於いて、センターのサーバー上で、例えば、 $36^20$ 個の組み合わせの中から乱数計算して得た数値を、アクセスした顧客の携帯電話に返す情報の中に暗号化して組み込み、これを利用してセッションを確立し、セッション確立後は、センターのサーバーは携帯電話から送られてきた情報に組み込まれ該暗号化された数値によって相手を特定してセッションを維持し、これに基づいてデータの受け渡しを行う手段をセンターが備えることができる。

10 【0024】更に、携帯電話の機種に依存することなくセッションを可能にするために、インターネットセンターにアクセスしてきた顧客の携帯電話の属性を判断し、携帯電話の機種に対応した言語のコンテンツをデータベースから自動生成し顧客の携帯電話に返す手段を備えることができる。

【0025】

【発明の実施の形態】本発明の予約発注システムは、図1に示すように、インターネットを介して、移動体通信機を有する顧客、各種店舗及び予約発注を処理するセンターとがネットワークで結ばれたものである。店舗は、複数の店舗がシステムに参画している。このなかには、一企業で一店舗という場合もあれば、一企業で複数の店舗を持ついわゆるチェーン店の場合もある。この状況を、図1に於いて、A社甲店、A社乙店、A社丙店、B社甲店、B社乙店、B社丙店というように表している。顧客も複数存在する。予約発注を処理するセンターは一カ所設けられる。本予約発注システムの運用に当たっては、会員制をとるのが好ましい。この場合は、顧客及び店舗がシステムの会員になる。ここで、移動体通信機というのは、通信機能を有する、携帯電話、携帯情報端末やノートパソコン等の端末である。特に、携帯電話を対象にしている。

30 【0026】センターには本システムを運営するサーバが設置される。サーバには、情報の受発信を行う通信装置、情報を記憶する記憶装置、データベース、表示装置、入力装置、中央演算装置等が設けられる。表示、入力、更には、センターシステムの管理のために、センター管理用のコンピュータを設けることができる。センターのデータベースには、店舗のリストやそのホームページ、商品リスト、更に、商品が飲食品の場合には料理のカロリー等が格納される。

40 【0027】本発明のシステムは、特に、メニュー数の多い、かつ、大規模の店舗、チェーンに加盟する店舗において効果のある予約発注システムである。顧客は、例えば、同一のチェーンに属する店舗で飲食することにより、商品の内容、価値が予めわかっていることが多いので、商品現物を確認することなくメニューで予約発注を行うことに抵抗が少ない。即ち、顧客は、店舗の開設するインターネット上のサイトから、メニューを選択することにより好みの商品を予約発注する。この際、同時

に、顧客は、テーブル確保時間及び発注した商品の出来上がり時間を知り、その時間に店舗に到着することにより、待ち時間がほとんどゼロで商品の受け取り又は飲食が可能になる。

【0028】顧客は、一般の消費者である。システムが会員制を採っている場合は、顧客はシステムの会員になる必要がある。顧客は、インターネット上で商品、サービスを提供する店舗のウェブサイトにもアクセスする。アクセスの方法は、センターのウェブサイトへアクセスしそのサイトから顧客が利用しようとする店舗のウェブサイトへリンクしてもよいし、センターのウェブサイトを紹介して利用しようとする店舗のウェブサイトへアクセスしてもよいし、直接利用しようとする店舗のウェブサイトへアクセスしてもよい。

【0029】いずれにしても顧客が利用しようとする店舗を決めたら、その店舗名はセンターに通知される。利用店舗名の通知を受けたセンターは、該店舗からその店舗の空席状態、店舗の客席利用可能時間又は商品の受け取り可能時間等の予約時間を受け取る。その待ち時間、予約時間は、顧客の移動体通信機に通知される。顧客が通知された待ち時間、予約時間に納得し、商品、サービスの予約注文をする場合には、顧客が商品メニューから希望の商品を選択しセンターに通知される。顧客は、この予約時間情報を得ることにより、予約時間にその店舗に訪れ、待ち時間をとられることなく、所期の商品、サービスを楽しむことができる。

【0030】商品、サービスメニューは、予めセンターの記録装置に登録記憶されている。センターの記録装置に登録記憶されている利用店舗のメニューを顧客の移動体通信機に通知するのである。顧客は、そのメニューのなかから希望する商品、サービスを選択する。顧客が選択したメニューが、注文情報としてセンターに通知される。ここで、メニュー名で注文するとしているが、該メニューを示す番号や記号であっても何ら差し支えはない。顧客が選択した商品、サービス自体が特定できるものであればよい。注文情報は、センターから該当する店舗に通知される。注文情報を受け取った店舗は、注文の商品名、サービス内容を確認し、予約時間にあわせてその商品、サービス提供の準備にかかる。

【0031】更に、商品が飲食品の場合、センターが、顧客が賞味した飲食品に関してそのカロリーを計算することができる。センターの記憶装置に、予め飲食品のメニュー及びそれぞれのカロリーが記憶されているので、その記憶されている数値を顧客の移動体通信機に通知するのである。この際、顧客が一定期間に消費した飲食品について、カロリーの合計値を計算することもできる。一定期間として、例えば、一ヶ月をとり、最近一ヶ月に賞味した料理の累積値が計算することができる。このカロリー値は、顧客の移動体通信機の通知されるので、顧客は、カロリー値を念頭に置いて飲食を楽しむことがで

きる。勿論、カロリー値の通知を希望しない場合には、通知はされない。また、料理を注文するに際して、今までのカロリー累積値を見ることもできる。

【0032】例えば、年輩者等に食事を宅配するような場合、飲食品の累積カロリー値は、食事の管理上意義あるものとなる。特に、一人暮らしの年輩者に毎日定期的に食事を宅配するような場合、食事の管理が年輩者自身ではできないので、食事を宅配する側で、食事のカロリー値を計算し、食事の管理、ないしは健康管理を行うことも可能になる。

【0033】本システムを利用して商品、サービスの提供を受ける顧客に対して、全員又は予約注文を受け付けて奇数番号又は偶数番号に当たる顧客に、おまけを付けることもできる。おまけは、割引券であっても良いし、飲み物券であっても良いし、食事券であってもよく、適宜きめることができる。おまけに当たる顧客の条件も、適宜決めることができる。

【0034】センターの立場から見た、本システムの運用の流れを図2に示した。顧客の立場から見た、本システムの運用の流れを図4に示した。顧客は、ウェブサイトへアクセスする。アクセスに際しては、ID番号とパスワードを入力する。利用しようとする店舗を指定する。必要に応じて、例えば、レストランの場合には飲食する人数を入力する。店舗に於ける待ち時間が表示されるので、その待ち時間に納得すれば、商品の予約発注を行う。商待ち時間に不満のある場合は、別の店舗をトライする。予約発注は、商品のメニューが表示されるので、希望の商品を選択し数量とともに入力する。予約発注の商品の種類、数量、金額等を確認し予約発注を終了する。

【0035】予約発注を行う画面の例を示す。図5は、初期画面である。この中から、希望の項目を選択する。図6は、ID番号、パスワードを入力して、店舗名、利用人数を指定し、待ち時間を確認する。待ち時間に、問題ないときは、引き続き料理の注文を行う。料理をメニューから選択する。この料理選択の画面の一例を、図7に示した。最後に、注文料理の確認を行って、予約注文の作業を終了する(図8)。

【0036】本システムに於いては、移動体通信機を使用して予約発注するので、発注する場所は、限定されない。家庭から、街角から、車の中から又は店舗の中からも可能である。この様子をイメージ的に図3に示した。

【0037】商品、サービスメニューは、顧客の好みに合わせて作成される。商品、サービスメニュー自体は、店舗自身が作成し、センターに通知する。センターでは、受け取った商品、サービスメニューをデータベースに記憶する。顧客の好みは変化するものであるから、商品、サービスメニューも顧客の好みに合わせて、適宜、修正、変更、追加や削除がなされる。この商品、サービスメニューの修正、変更、追加や削除は、店舗自身が店

舗のホームページを介して行う。修正、変更、追加や削除された商品、サービスメニューは、センターに通知され、センターのデータベースに記憶される。

【0038】顧客には、ID番号とパスワードと登録させ、顧客が本システムにアクセスするに際しては、ID番号とパスワードを入力させる。入力されたID番号とパスワードによりサービスを受ける顧客を特定することができる。移動体通信機で予約発注する場合、無断キャンセルされると店舗に不測の損害を与えるので、会員制で運用するのが好ましい。会員登録に際して、顧客の氏名、住所、電話番号、e-mail アドレス、職業、銀行口座、クレジットカード番号やその引き落とし口座等の個人情報登録させる。商品の提供に於いて、現金を利用せずに決済する手段として会員システムと連動してクレジットカード又は銀行口座から決済を行うことができる。店舗のサービスを受けた顧客が特定できるので、クレジットカードシステムや会員システムと連動して決済を行うことが容易にできる。このようにして、キャッシュレスにて発注・商品の受け渡しができる。

【0039】本システムに於いて、顧客は多くの場合利用しようとする店舗の所在位置を承知している場合が多いが、まれに、利用しようとする店舗の所在位置を承知していない場合がある。例えば、顧客が訪れたことのない店舗を利用してみたい又は新聞、雑誌、テレビ等で紹介された店舗を利用してみたいというような場合である。このような場合には、顧客の移動体通信機上で該店舗の一を検索することができ、また、検索した後は移動体通信機上に該店舗の所在位置を表示し、画面上で該店舗までナビゲートすることも可能である。例えば、図9の様な、検索エリアを尋ねる画面で、又は図10のよう

に住所、店舗名等で検索することができる。

【0040】本システムは、特に、インターネットへの接続端末として携帯電話をその対象にしている。携帯電話でインターネットに接続し、セッションを行うに際しては、前述したように、パソコンで使用されるクッキーが使用できず、セッション確立方法が提供されていないので、対話的な連続データのやり取りが困難であるという問題及び携帯電話の機種によって、インターネットへの接続が自由には行えないという問題がある。

【0041】これらの問題に対して、本発明は、機種に依存した言語によってコンテンツを作成するのではな

く、アクセスしてきた携帯電話の機種の属性を判断し、携帯電話の機種に対応した言語のコンテンツをデータベースから自動生成し、該携帯電話に返すことで、携帯電話の機種に依存せずに閲覧・回答できるシステムとした。また、ブラウザのクッキーに相当するセッション確立の問題を解決するために、本発明では、サーバー上で、例えば、 $36^{20}$  個の組み合わせの中から乱数計算して得た数値を、アクセスして来た移動体通信機に返す情報の中に暗号化して組み込み、これを利用してセッションを確立させ、セッション確立後は、サーバーは携帯電話から送られてきた情報に組み込まれ暗号化された数値によって相手を特定してセッションを維持し、これに基づいてデータの受け渡しを行うシステムとした。尚、36という数は、アルファベット文字数26と0から9までの数字の数10とを加えたものである。

#### 【0042】

【発明の効果】本発明のシステムを適用することにより、顧客は店舗に到着する前に商品、サービスが用意され、また、商品、サービスの発注と同時に店舗の空き状況を把握し、予約ができ、注文した商品、サービスを待ち時間をとることなく提供される。また、予約注文に基づいて商品、サービスを提供するので、店舗の営業活動の効率が高まり、同時に顧客の個人情報の蓄積により顧客へのサービスを高めることができる。その上、現金を持ち合わせていない場合に於いても、商品、サービスを注文することができる。更に、利用すべき店舗の所在位置がわからないときにも、移動体通信機上で、該店舗を検索しその位置を確認することができ、移動体通信機上に地図を表示してナビゲートすることもできる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】予約発注システム構成例を示す図である

【図2】予約発注システムの運用の一例を示す図である

【図3】予約注文の場所を示す例である

【図4】予約発注システムの利用例を示す図である

【図5】初期画面の例を示す図である

【図6】予約発注画面の例を示す図である

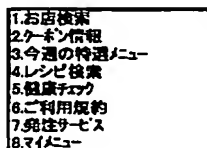
【図7】予約発注画面の例を示す図である

【図8】予約発注画面の例を示す図である

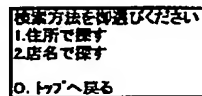
【図9】店舗検索画面の例を示す図である

【図10】店舗検索画面の他の例を示す図である

【図5】

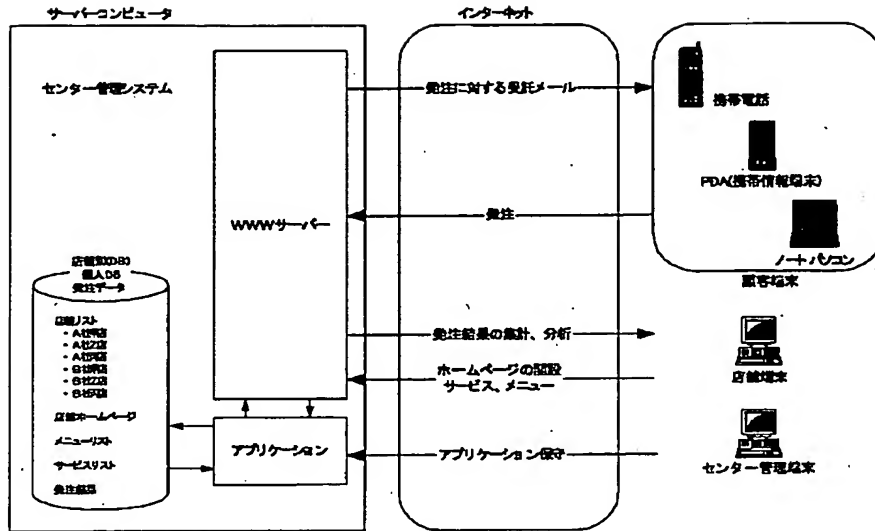


【図10】

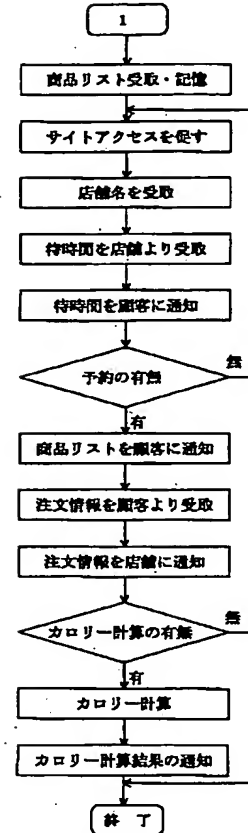




【図1】

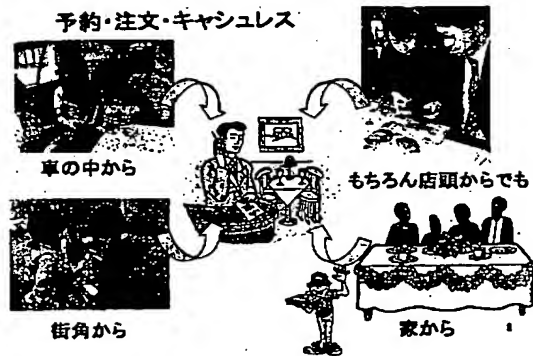


【図2】



【図3】

【図6】



【図9】

検索エリアを指定してください

- 北海道
- 東北
- 関東
- 東京
- 甲信越
- 北陸
- 中部
- 名古屋
- 関西
- 大阪
- 中国
- 四国
- 九州

トップへ戻る

7. 発注サービス  
発注サービス会員のみがご利用できます。

入会希望の方は0を押して  
入会サービスにてご入会ください。

ID番号を入力してください。  
Passwordを入力してください。  
注文店を選択してください。  
ご利用人数を入力ください。

現在の待ち時間は  
20分です。  
発注する場合には1を  
店舗を変更する場合には0を  
押してください。

いらっしゃいませ  
秋川店です。

メニューを選択してください。

- 1. 魚料理
- 2. 肉料理
- 3. サラダ
- 4. ドリンク
- 5. デザート
- 6. パン/ライス
- 0. 終了

価格

1. さけのムニエル(350Kcal)	600
2. 豚の味噌煮(400Kcal)	400
3. 鶏の塩焼き(250Kcal)	550
4. カレイの煮つけ(300Kcal)	560
5. すずきのポアレ(210Kcal)	700

0. メニュー選択に戻る

メニューNo.を選択してください。  
数量を入力してください。  
続けて注文入力する場合には0を押してください。  
ご注文を確認ください。  
今回のご注文は さけのムニエル 数量2 金額1,200円です。

ご注文を修正する場合は1を、終了する場合は0を押してください。

- 1. 注文の修正
- 0. 終了

【図7】

【図8】



【図4】

